
DEATH NOTE 序破

J

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

DEATH NOTE 序破

【Zコード】

N1174T

【作者名】

J

【あらすじ】

「死神界」そこは人間が知らない世界。

廃れていた。そこに住んでいる死神はやるべきことだがなく毎日博打や睡眠の繰り返し。

死神界に退屈していた死神リュークにチャエルシマと名乗る死神が一冊のノートを受け渡した。

リュークは退屈しのぎにそのノートを人間界に落とす。

そのノートの名前は「デスノート」。
デスノートに名前を書かれた人間は死ぬ。

リューク「毎日 同じ事の繰り返し…つまらねー」

「？」 「この世は腐ってる…？」

リューク「ん？誰だお前？」

チエルシマ「いきなり失礼。僕はチエルシマ。といひでキリはつき、つまらないと言つたね」

リューカ「ああ…それがどうした？」

チエルシマ「面白に事をしてみないか？」

リューカ「面白い事ってこの世にそんなことがあるかねえ？」

チエルシマ「この世には無いけど、人間界にはあるかもね」

リューカ「下界に？」

チエルシマ「ここに余っている一冊の『スノート』がある。キリあげるよ」

リューカ「『スノート』を使って下界で遊べと？」

チエルシマ「流石はリューカ。死神界一の頭脳の持ち主、そして死神大王の後継ぎ…」

リューク「俺は後継ぎなんて、」

「テスノート」の
チヨルシマ「うど、そんな『レギュラ』でもいい。
? 『じゃないの?』

リューク「貰うとするか。迷回しのやうなやうだ」

チエルシマがリュークにデスノートを渡す

リューグ「『DEATH NOTE』英語か」

「人間界ではポピュラーだからね。でも驚いたな、英語を知っている死神なんてそうそう居ないよ。さすがだね。まあ開いてみてよ、」

リューグ「…ウホッ！ これ全部オマエが書いたのか？」

「 チエルシマ 「 そうだよ。使い方わからないと意味ないでしょ？」

リニケ・コノまで準備しているのにオマエは下界に行かないのか？」

「僕はいいんだ、傍観するのが好きだから……」

リューク「お前、変わった奴だな。ククク。」

「リューク、君に言われたくないな。君みたいに行動

力ある死神もなかなか居ないよ。」

リューク「ククク。誉められてるのか貶されてるのか分からねえな。

」

チエルシマ「誉めているんだよ。この世界にまだ君のような死神が居るなんて考へてもいなかつた。」

リューカ「お前、俺のこと馬鹿にしてんだろ。ククク。」

チエルシマ「気を悪くしたなら謝るよ。かわりに人間界に行くにあたつて、良いことを教えてあげる。」

リューカ「？」

チエルシマ「人間界のリングは食べない方が良いよ

」

主題歌：ダーニカルフォルニア

【譲渡】

チエルシマがリュークに、テスノートを渡す

リューク「『DEATH NOTE』英語か」

チエルシマ「人間界では

ポピュラーだからね。

でも驚いたな、英語を知っている死神なんてそうそう居ないよ。さすがだね。

まあ開いてみてよ、」

リューク「…ウホッ！」

これ全部オマエが
書いたのか？」

チエルシマ「そうだよ。

使い方わからないと
意味ないでしょ？」

リューク「ここまで

準備しているのに
オマエは下界に
行かないのか？」

チエルシマ「僕はいいんだ、

傍観するのが好きだから…」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1174t/>

DEATH NOTE 序破

2011年10月9日02時45分発行